

民間教育最高功労賞



しみず たえこ
清水妙子先生
菅田進学塾 塾長

●略歴
1931年京都市生まれ。戦後、女子が大学に進めるようになった新制大学第1期生として49年、京都教育大学教育学部に進学。人文地理学を専攻。日本最古の公立学校である京都市立柳池中学に赴任し教鞭をとるが、夫の東京転勤に伴い退職。専業主婦を経て、78年千葉市に「菅田進学塾」を開塾。以後、45年間にわたり地域の子どもたちの学習支援活動に従事。

●授賞理由
千葉県を中心とする地域一帯の民間教育の発展に寄与した功績



受賞のご感想
清水妙子先生の御子息で菅田進学塾代表の清水貴氏が妙子先生から預かってきたご感想を代読。
「大変栄誉ある賞をいただき、驚きました。ご選出いただいた委員の皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございます。」

私は塾を立ち上げた頃、当時は学校は勉強に意欲のある子、勉強ができる子というだけで仲間はずれにされるような場所でした。その子どもたちに、純粋に学問の面白さ、楽しさを伝えたいと毎日、たくさん



このたびの受賞は、楽しく一緒にの話をしてきました。冬期講習の昼休みに百人一首をしたり、クリスマスに特注のケーキを配ったりと、子どもたちと楽しく過ごしました。

勉強してくれた塾生たちの頑張り、保護者と地域の皆さまのご理解とご協力、塾創立の精神を受け継いでくれている社員たち、OB・OGとして活躍してくれた大勢のチャーターたちのおかげです。この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございます。」



民間教育最高功労賞



かわばた たくや
川畑卓也先生
アイ・アカデミー株式会社代表・総塾長

●略歴
1947年神戸市生まれ。77年、群馬県館林市に「館林学習塾」(現アイ・アカデミー)創業。(公社)全国学習塾協会群馬支部長、関東支部長、理事、全国学習塾協同組合理事、副理事長を歴任。館林塾人クラブ会長。館林商工会議所評議員。館林ライオンズクラブ元会長。2003年館林市功労賞受賞、19年館林商工会議所より地域貢献大賞「さらりと輝く企業」表彰。

●授賞理由
群馬県を中心とする地域一帯の民間教育の発展に寄与するとともに全国の民間教育事業者の交流に寄与した功績

受賞のご感想
このたびはまことにありがとうございます。45年間塾を運営してまいりましたが、本当にあっという間の45年間でした。アイ・アカデミーは、進学塾、生涯学習などを運営しておりますが、地域社会に教育を通じて貢献しようという気持ちです。これからも頑張りたいです。これからも頑張りたいです。これからも頑張りたいです。

最後にもう一つだけ言わせてください。これまでやってきた私の仕事は女房の協力と頑張りがなくてはならないものでした。この会場に女房も来ておりますので、この場を借りてお礼を言わせてください。本当にありがとうございます。これからもどうぞよろしく。



3月22日(水)、東京・神田の学士会館において、「日本民間教育大賞授賞式・記念講演会・祝賀会」が盛大に開催された。昨年、一昨年と新型コロナウイルス感染拡大防止のため会場の入場制限が行われたが、今年は通常通り。都合により会場に來れない方々はオンラインで参加した。

日本民間教育大賞は、概ね75歳以上を対象とする「民間教育最高功労賞」と没後10年以内の故人を対象とする「民間教育特別功労賞」の2部門で構成されている。本年度は、2022年10月から2022年12月までの間公募を行い、推薦された方々を対象に選定会議において厳正な審査を行った結果、民間教育最高功労賞に4名、民間教育特別功労賞に1名の受賞者が選出された。



開会の辞は、(株)塾と教育社 代表取締役社長 加藤麻由美氏。「本日はこうしてコロナ禍以前の3月に開催できることを大変嬉しく思っております。皆さま、今日一日、どうぞよろしくお願い申し上げます」と述べ、記念講演会へと移っていった。

記念講演会では、株式会社成学社 代表取締役会長 太田明弘氏が「弱者の塾経営戦略 生き残るための深化と探索」をテーマに講演を行った。授賞式では、冒頭、この1年間にお亡くなりになった民間教育関係者の御貢献に感謝するとともに御冥福を祈って1分間の黙祷が行われ、日本民間教育大賞選定会議の構成団体、委員が紹介された。特定非営利法人全国教育ボランティアの会 佐藤勇治氏は体調を崩して欠席し、顧問の衆議院議員 下村博文氏(元文部科学大臣)は会議のため欠席した。

次に日本民間教育大賞の受賞者が紹介された。民間教育最高功労者は、アイ・アカデミー(株)代表・総塾長 川畑卓也先生、菅田進学塾塾長 清水妙子先生、ウィザスグループ会長 堀川一見先生、(株)ティエラコム代表取締役・(一社)日本青少年育成協会会長 増澤空先生、民間教育特別功労賞は、(公財)日本数学検定協会前理事長 清水静海先生が受賞。会場にお越しになれなかった清水妙子先生は、代理として御子息で菅田進学塾代表の清水貫氏が出席。故人の清水静海先生の代役は、現在の日本数学検定協会理事長 高田忍氏が務めた。

表彰に先立って、全国学習塾協同組合理事長 森貞孝氏は「この日本民間教育大賞も今年で10回目になります。学習塾が各々の地域に密着し、地域に貢献して地元の支持を得て10年が経過したということです。今後もこの賞がますます広く根づくことを願っております。受賞された先生方、本当に心からおめでとくと申し上げます」と開会の辞を述べた。さらに顧問の参議院議員 大島九州男氏が祝辞を述べ、その後祝電が披露された。

受賞者は御一人ずつ壇上に上がり、民間教育連盟会長 森本一氏から表彰状を、(一社)日本青少年育成協会専務理事 本田恵三氏から盾が贈呈された。

閉会の辞を述べたのは、全日本私塾教育ネットワーク副会長 仲野十和田氏。「1年に1回ではありますが、民間教育の礎を築いてこられ、そしてお世話になった諸先輩方にこうしてお会いできるのは本当に幸せなことだと思っております。本日は本当に心からおめでととございます。そしてありがとうございました。」

祝賀会では、民間教育関係者が受賞された先生方を囲んでお祝いの言葉をのべるとともに、情報交換などを行い、さらに盛り上がった。

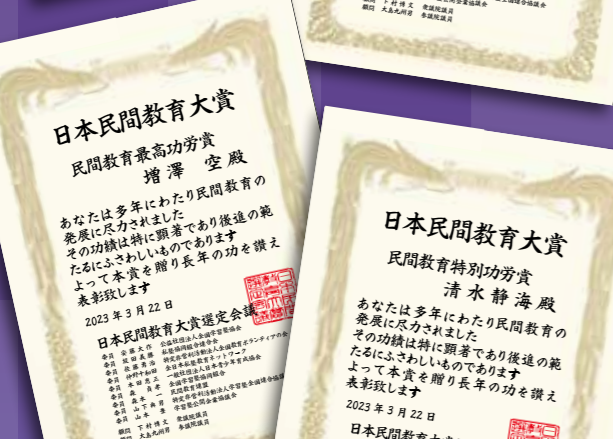
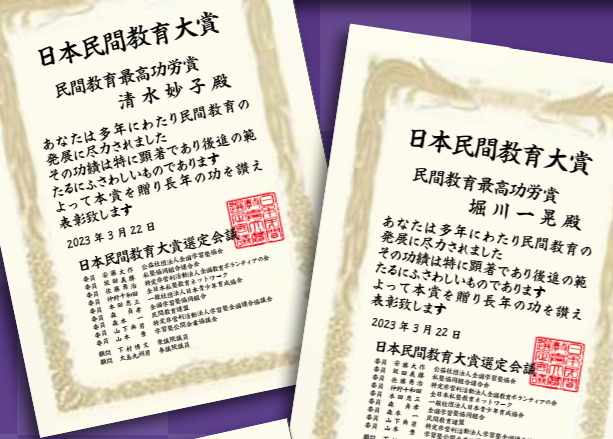


授賞式 記念講演会 祝賀会



日本民間教育大賞 ダイジェスト版動画は下記 URL または QR コードからご覧いただけます。
<https://youtu.be/siyxyFxnVGg>
●映像協力 ●
(株)フレックス design office[moov]

- 日本民間教育大賞選定会議 (構成団体・団体名50音順)
- 一般社団法人 日本青少年育成協会
 - 学習塾公開企業協議会
 - 公益社団法人 全国学習塾協会
 - 私塾協同組合連合会
 - 全国学習塾協同組合
 - 全日本私塾教育ネットワーク
 - 特定非営利活動法人 学習塾全国連合協議会
 - 特定非営利活動法人 全国教育ボランティアの会
 - 民間教育連盟
- 顧問 下村博文 衆議院議員
顧問 大島九州男 参議院議員



民間教育特別功労賞

清水 静海 先生

公益財団法人日本数学検定協会 前理事長




●略歴
1949年長野県生まれ。東京教育大学大学院修了後、愛知教育大学助手、助教授、文科省教科調査官、筑波大学大学院助教授、准教授、帝京大学准教授、教授等の研究・教育職を歴任。また(公社)日本数学教育学会会長、新算数教育研究会会長、日本数学教育史学会副会長など各種学会の役員を歴任。2010年(公財)日本数学検定協会理事長に就任。2022年没。

授賞理由
●授賞理由
数学検定事業等を通じて全国の民間教育の発展に寄与した功績

受賞のご感想
高田 忍 様
(公財)日本数学検定協会 理事長

前理事長であった清水先生は昨年11月13日に亡くなり、その後11月19日に理事会を開いて、新しく理事長を任命いたしました高田と申します。

清水静海先生は、算数・数学の教科調査官として大変活躍された



方です。特に平成元年(1989年)の学習指導要領の中で、これまでの教育とは違った形で算数・数学がどこでどのように使われているか、その良さが分かるようにし、そしてそれを知ることが教育目標に掲げた最初の方でありました。清水先生がお亡くなりになった昨年の数検受検者は33、34万人というところで、これまでに700万人の受検者があります。

お子さんたちの未来を考えると、公教育、民間教育、家庭教育が一体となつて育んでいく必要があります。ぜひ私たちもそこに加え



民間教育最高功労賞

増澤 空 先生

株式会社ティエラコム 代表取締役
一般社団法人日本青少年育成協会 会長



●略歴
1942年熊本県生まれ。早稲田大学卒業後、映画シナリオライターとして多くの作品を手がける。76年神戸市に学習塾「能力開発センター」創業。2000年、社名を「(株)ティエラコム」に改称。独自性の高い教育プログラムを次々に開発実践するとともに、東進、atama+なども積極的に導入。現在西日本に140教室を運営。10年、(社)日本青少年育成協会会長に就任。



授賞理由
●授賞理由
学習塾事業を通じて民間教育の発展に寄与するとともに全国の塾事業者の連携に寄与した業績

受賞のご感想
私は昨年の11月に80歳になりました。映画の仕事が少しかつて31歳のときに塾を始め、もうすぐ50年が経ちます。

自分は何のために塾をやってきたのだからかと最近よく考えます。塾は教育機関であるけれども、一方では企業として生き残っていかなければなりません。この二つをいかに両立させていくかという問題は、当初からずっとありました。個の幸せと組織の持続性、この両方が実現



するというのは、様々なところで相矛盾するわけです。

あと何年生きられるのかわかりませんが、せつかなので可能な限り、この仕事をやってよかったと思えます。

る誇りと達成感を社員やスタッフに経験させて、仲間としてこれからも末永くやっていきたいと思っております。今までの自分に点数を付けます。60点です。これからは頑張りますので、よろしく願っています。

民間教育最高功労賞

堀川 一晃 先生

ワイザスグループ 会長(創業者)




●略歴
1947年大阪府生まれ。26歳で当選した市議時代に教育の将来を憂慮し、76年「学研塾」(一社)学力研修社(現(株)ワイザス)を設立。「社会で活躍できる人づくり」を実現できる最高の教育機関を目指し、学習塾「第一ゼミナール」や通信制高校「第一学院高等学校」、能力開発の(株)SRJなどグループ17社を含め全国260を超える拠点で教育関連事業を展開。

授賞理由
●授賞理由
学習塾事業や通信制高校の運営・キャリア支援事業を通じて民間教育の発展に寄与した功績

受賞のご感想
本日はありがとうございます。先ほど壇上で増澤先生とも話したのですが、会場にはお若い先生方が集まってくれています。それだけ学習塾を担う若い方々がたくさんいるということ、我々もそういう意味では先輩として心強く感じています。

26歳で当選した市議時代、学校の見学や視察に行き、学校現場の様々な問題を感じました。学校教



育だけで日本の子どもたちを育成できるのだろうか?そんなことを痛感して市議は4年で辞めて、教育事業を始めたという経緯があります。

これを機会に、もう少し現場にかかわることができたらいいなと思っております。本当にありがとうございます。